

2018 SGH通信

【2年生配布用】

No.4 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

5月14日（月）課題解決型ワークショップについて

昨年より始まった生徒参加型のワークショップ形式による学習を本年度もおこないます。ワークショップとは、「講師の話を参加者が一方的に聞くのではなく、参加者自身が討論に加わったり、体を使って体験したりするなど、参加体験型、双方向性のグループ学習」のことであり、SGHの目的である「課題発見力・課題設定力を持ち、他者と協力して課題解決することができる生徒」の育成には、必要不可欠な学びのスタイルとなります。

「SGH課題研究2（2年生）」で行う今回のワークショップはグループ活動です。おおよそ5～6人で一つのグループを作り、与えられたテーマに対して解決策を提案していくことを目的としています。

1年生で皆さんは、グローバル課題、特に私たちが生活しているアジア諸国の課題について、ある程度の知識を持ち、課題発見をしてきました。次の段階では、課題解決に向けて自分自身の考え・アイデアを発信してもらいたい、発信できるのではないかと考えています。今回のワークショップは、その良い練習の機会になると思います。

私たちが「SGH課題研究」を通して研究していることは、決して「答え」があるものではありません。むしろ「答えがないことが答え」かもしれませんが、そのようなことに対して「自分独自の解決方法」を提案できる人間になって欲しいと願っています。社会に出ると、「答えがないことに、自分なりの答えを見出す」ことの連続です。このワークショップに対する皆さんの積極的な姿を期待しています。

「課題解決型ワークショップ」

目的：「都市の持続可能性」について、参加者提案型のワークショップを実施し、自らの意見やアイデアを発信できる力を養う。

講師：滋賀大学 国際センター 教授 森 宏一郎 先生

日時：5月14日（月）

1・2時間目（1・2組）

3・4時間目（3・4・5組）

5・6時間目（6・7・8組）

◆授業開始2分前には着席を完了すること（厳守）

場所：管理棟2階 ゼミナル室

持ち物：課題研究ファイル、配付された「学習シート」、筆記用具

平成26年度文部科学省指定スーパーグローバルハイスクール（5年間指定）

【ワークショップにむけて準備してほしいこと】

☆予習をしっかり行ってください。☆

皆さんには、担任の先生から、事前プリントが配られる予定です（5月11日配付予定）。仮想の話題ではありますが、その話題に対して、最後に設問が掲載されています。授業当日に、グループ間でアイデアを出し合えるように設問も含め、よく読み込んでおいてください。前述しましたが、このワークショップにおいて、「正解」と言えるものがあるかどうかは分かりません。確実に言えることは、「唯一の正解がない」という事です。模範解答も存在しません。そういう意味では、気楽に取り組めると思います。

最後に、昨年滋賀大の森教授からいただいたワークショップの掟を示します。別刷りで配りましたが、改めて通信に掲載します。この姿勢で取り組んでみてください。

～ワークショップの掟～

【全体ディスカッション】

1. 間違いを恐れずに発言せよ。
2. 何か言うことがあるならば、頭の中でまとめるよりも先に手を挙げてしまえ。
3. かしこまるな。リラックスして、前のめりで参加せよ。

【グループ・ディスカッション】

1. とりあえず行動せよ。
2. 間違いを恐れずに発言せよ。
3. 他人の意見を批判するな。まずは理解に努めろ。
4. 意識的に楽しくやれ。「楽しそうにしていると、本当に楽しくなる！」
5. 他人の意見に反論する場合は、理由を明確かつ説得的に示すか、代替案を示せ（両方あるのが望ましい）。

